

平成 16 年度

一般廃棄物処理の現況

(平成 18 年 10 月)

島根県環境生活部廃棄物対策課

目 次

I 概要編

1. ごみ処理の概要	
(1) ごみの総排出量.....	1
(2) 各地区の状況.....	2
2. ごみの分別収集状況、収集形態の状況	
(1) 全県の状況.....	4
(2) 各地区の状況.....	5
3. ごみ処理施設の状況	
(1) 全県の状況.....	9
(2) 各地区の状況.....	10
4. ごみ減量化・資源化状況	
(1) 全県の状況.....	23
(2) 地区別の状況.....	24
5. 廃棄物減量化に対する施策、住民支援措置.....	28
6. し尿処理の概要	
(1) 衛生処理人口.....	34
(2) し尿処理の状況.....	35
(3) し尿処理施設.....	36
7. 一般廃棄物処理事業の実態	
7-1 廃棄物処理事業経費の概要.....	37
(1) 県全体の廃棄物処理事業経費の概要.....	37
(2) 地区別のごみ処理事業経費の概要.....	37
7-2 廃棄物処理事業従事職員.....	41
7-3 委託・許可業者数.....	41
7-4 一般廃棄物処理業者等関係.....	41
8. ダイオキシン類対策等の状況.....	42

II 資料編

1. ごみ処理の概況

(1) ごみ処理フロー（平成 16 年度実績）	44
(2) ごみ処理の状況（市町村別）	45
(3) ごみの収集体制・分別状況（事業系ごみを除く）	47
(4) 保管施設整備状況	48
(5) 平成 16 年度資源回収状況	49
(6) ごみ処理施設整備状況（平成 18 年 3 月 31 日現在）	51
(7) 不燃物処理施設整備状況（粗大ごみ処理施設含む）	53
(8) 埋立処分地施設整備状況	55
(9) ごみ処理施設（焼却施設）整備状況図（平成 18 年 3 月 31 日現在）	57

2. し尿処理の概況

(1) し尿処理フロー（平成 16 年度実績）	58
(2) 衛生処理人口	59
(3) し尿処理の状況（市町村別）	61
(4) し尿処理の状況（事務組合別）	63
(5) コミュニティプラント施設整備状況（平成 18 年 3 月末）	64
(6) し尿処理施設の状況（平成 16 年度）	65
(7) し尿処理施設整備状況（平成 18 年 3 月 31 日）	67
(8) し尿処理施設整備状況図（平成 18 年 3 月 31 日現在）	69

3. 廃棄物処理事業の概要

(1) 廃棄物処理事業従事職員（市町村別）	70
(2) 廃棄物処理事業従事職員（事務組合別）	71
(3) 委託・許可件数	72
(4) 廃棄物事業経費（市町村別）	73
(5) 廃棄物事業経費（事務組合別）	75
(6) 一般廃棄物処理事業者等関係整備状況	77

4. 浄化槽整備状況

(1) 年度別浄化槽設置状況	78
(2) 市町村別・規模別浄化槽設置状況（平成 16 年度末）	79
(3) 浄化槽設置整備事業実績（個人設置型）	80
(4) 市町村設置型浄化槽整備実績（平成 16 年度末）	81
(5) 浄化槽法定検査（法第 11 条）実施状況	82

5. 参考資料

島根県における一般廃棄物処理体制	83
廃棄物処理関係一部事務組合一覧表（平成 16 年度）	84
島根県の廃棄物行政機関	86

※平成 16 年度に名称変更した事務組合は新名称にて整理した。

I 概要編

1. ごみ処理の概要

(1) ごみの総排出量

県内のごみ排出量と処理の推移を表1-1、図1-1, 計画収集人口の割合を図1-2に示す。

平成16年度における県内のごみの総排出量は267,162tであり、前年より約2.4%減少している。

計画収集人口は753,206人で総人口の99.7%となっている。ごみ1人1日当たりの総排出量は、969gで前年より17g減少している。

表1-1 ごみ排出量と処理の推移

区 分	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
総人口(人)	767,571	764,909	763,822	760,354	755,527
計画収集人口	755,291	752,303	753,934	755,444	753,206
自家処理人口	12,280	12,606	9,888	4,910	2,321
計画収集率(%)	98.4	98.4	98.7	99.4	99.7
総排出量(t/年)	262,229	271,902	267,875	273,697	267,162
計画収集量	220,407	229,362	225,211	230,842	230,612
直接搬入量	29,742	29,664	32,130	35,408	31,903
自家処理量	12,080	12,876	10,534	7,447	4,647
計画処理量(t/年)	250,149	259,026	253,121	264,782	253,315
直接焼却	164,803	174,126	171,478	176,686	166,555
焼却以外	63,047	65,008	70,145	79,207	79,396
直接埋立	22,299	19,892	11,498	8,889	7,364
1人1日総排出量(g)	936	974	961	986	969

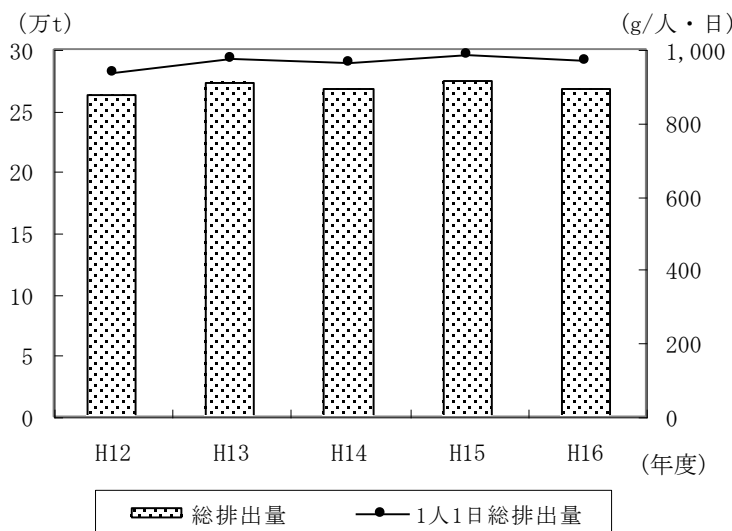


図1-1 ごみ排出量の推移

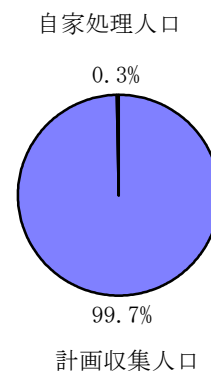


図1-2 計画収集人口の割合

注) 計画処理区域内人口 = 計画収集人口 + 自家処理人口 = 総人口
 総排出量 (t/年) = 計画収集量 + 直接搬入量 + 自家処理量
 計画処理量 = 焼却 + 焼却以外 + 直接埋立量
 1人1日当たり総排出量 (g/人・日) = 総排出量 / 総人口 / 365日 × 10⁶

(2) 各地区の状況

<松江地区>

①松江市

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

②東出雲町

可燃ごみ処理は、松江市に委託している。

③安来市

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

当地区の総排出量は 94,640t、計画処理量は 86,537t であり、1人1日総排出量は 1,019g と県平均の 969g を上回っている。

<出雲地区>

①奥出雲町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

②雲南市，飯南町

可燃ごみ処理は、雲南市の旧大東町、旧加茂町、旧木次町、旧三刀屋町はごみ燃料化施設で行っている。雲南市の旧吉田村、旧掛合町と飯南町は中継施設を経由して、出雲市に委託している。

④出雲市，斐川町

可燃ごみ処理は、出雲市では単独で行っている。斐川町は出雲市へ委託している。

当地区の総排出量は 85,431t、計画処理量は 83,427t であり、1人1日総排出量は 954g と県平均の 969g を下回っている。

<浜田地区>

①大田市，温泉津町，仁摩町

可燃ごみ処理は、中継施設を経由し、出雲市に委託処理している。

②川本町，美郷町，邑南町

可燃ごみ処理は、邑智郡総合事務組合で行っている。

③浜田市，江津市，金城町，旭町，弥栄村，三隅町

可燃ごみ処理は、浜田地区広域行政組合で行っている。

④益田市，津和野町，日原町，柿木村，六日市町

可燃ごみ処理は、益田地区広域市町村圏事務組合で行っている。

当地区の総排出量は 75,692t、計画処理量は 71,976t であり、1人1日総排出量は 898g と県平均の 969g を下回っている。

<隠岐地区>

①隠岐の島町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

②海士町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

③西ノ島町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

④知夫村

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

当地区の総排出量は11,399t、計画処理量は11,375tであり、1人1日総排出量は1,272gと県平均の969gを大きく上回っている。

表 1-2 各地区のごみ排出量と処理内訳

区 分	松江地区	出雲地区	浜田地区	隠岐地区
総人口(人)	254,545	245,457	230,967	24,558
計画収集人口	254,545	244,488	229,615	24,558
自家処理人口	0	969	1,352	0
計画収集率(%)	100	99.6	99.4	100
総排出量(t/年)	94,640	85,431	75,692	11,399
計画収集量	87,029	73,071	65,375	5,137
直接搬入量	6,774	11,263	7,612	6,254
自家処理量	837	1,097	2,705	8
計画処理量(t/年)	86,537	83,427	71,976	11,375
直接焼却	55,305	52,367	49,683	9,200
焼却以外	29,142	27,913	21,090	1,251
直接埋立	2,090	3,147	1,203	924
1人1日総排出量(g)	1,019	954	898	1,272

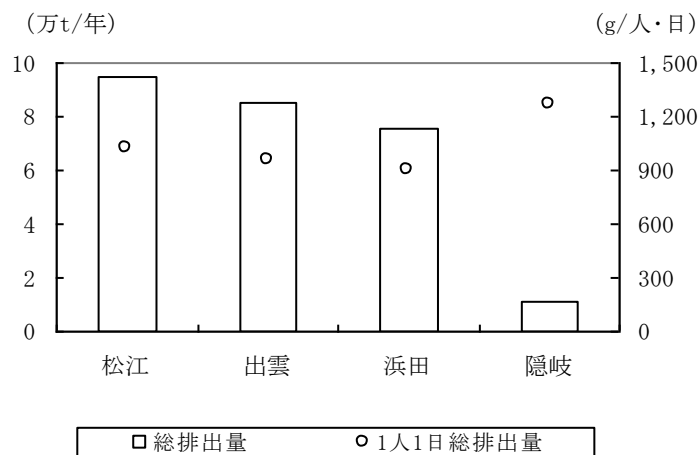


図1-3 ブロック別ごみ排出量

2. ごみの分別収集状況、収集形態の状況

(1) 全県の状況

県内のごみ収集並びに処理の内訳を表2-1、ごみの収集内訳を図2-1、ごみの処理内訳を図2-2に示す。

平成16年度に市町村が処理したごみ量は253,315tであった。その内、166,555t(65.8%)は直接焼却され、79,396t(31.3%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理が行われ、7,364t(2.9%)は直接埋立てられた。

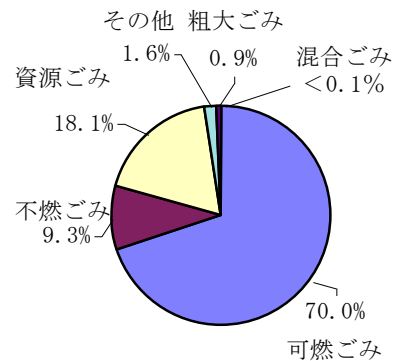
県全体で57,181t(22.6%)がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると58,777tが資源化された。

ごみの収集内訳は、可燃ごみ70.0%、不燃ごみ9.3%、資源ごみ18.1%、その他1.6%、粗大ごみ0.9%、混合ごみ0.1%未満であった。

表2-1 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

(単位：t)

県全体		平成16年度	
計画収集量		230,612	
収 集 内 訳	混 合 ご み	14	
	可 燃 ご み	161,519	
	不 燃 ご み	21,506	
	資 源 ご み	41,724	
	そ の 他	3,777	
	粗 大 ご み	2,072	
直 接 搬 入 量		31,903	
自 家 処 理 量		4,647	
総 排 出 量		267,162	
集 団 回 収 量		1,596	
処 理 内 訳	中 間	直 接 焼 却	166,555
		焼 却 以 外	79,396
	最 終	直 接 埋 立	7,364
	処 分	焼 却 残 渣	19,058
		破 碎 圧 縮	19,534
		資 源 化	57,181
処 理 合 計		253,315	
資 源 化 率 (%)		22.6	
1人1日当たり ごみ総排出量 (g)		969	



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図2-1 ごみの収集内訳

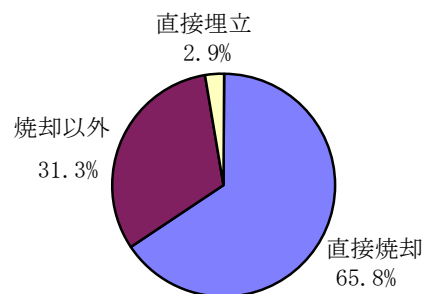


図2-2 ごみの処理内訳

注) ごみの資源化率 (%) = 資源化量 / 処理合計 × 100
処理合計 = 焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

(2) 各地区の状況

< 松江地区 >

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-2、ごみの収集内訳を図 2-3、ごみの処理内訳を図 2-4 に示す。

平成 16 年度に当地区内で処理されたごみ量は 86,537t であった。その内、55,305t (63.9%) は直接焼却され、29,142t (33.7%) は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理が行われ、2,090t (2.4%) は直接埋立てられた。

当地区全体で 20,172t (23.3%) がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 20,662t が資源化された。

ごみの収集内訳は、可燃ごみ 65.4%、不燃ごみ 12.7%、資源ごみ 20.8%、その他 0.1% 未満、粗大ごみ 1.1% であった。

表2-2 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

(単位：t)

松江地区		平成16年度
計画収集量		87,029
収集内訳	可燃ごみ	56,882
	不燃ごみ	11,056
	資源ごみ	18,123
	その他	9
	粗大ごみ	959
直接搬入量		6,774
自家処理量		837
総排出量		94,640
集団回収量		490
処理内訳	中間焼却	55,305
	焼却以外	29,142
	最終処分	2,090
	焼却残渣	7,015
	破碎圧縮	8,603
	資源化	20,172
処理合計		86,537
資源化率 (%)		23.3
1人1日当たり ごみ総排出量 (g)		1,019

注) ごみの資源化率 (%) = 資源化量 / 処理合計 × 100
処理合計 = 焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

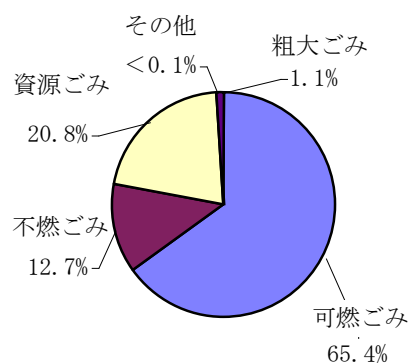


図2-3 ごみの収集内訳

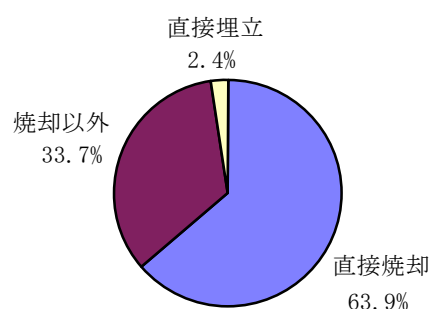


図2-4 ごみの処理内訳

<出雲地区>

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-3、ごみの収集内訳を図 2-5、ごみの処理内訳を図 2-6 に示す。

平成 16 年度に当地区内で処理されたごみ量は 83,427t であった。その内、52,367t(62.8%)は直接焼却され、27,913t(33.5%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理が行われ、3,147t(3.8%)は直接埋立てられた。

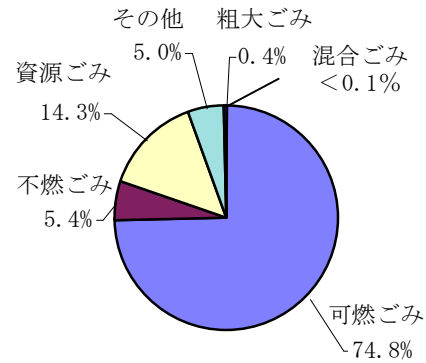
当地区全体で 21,006t(25.2%)がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 21,532t が資源化された。

ごみの収集内訳は、可燃ごみ 74.8%、不燃ごみ 5.4%、資源ごみ 14.3%、その他 5.0%、粗大ごみ 0.4%、混合ごみ 0.1%未満であった。

表2-3 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

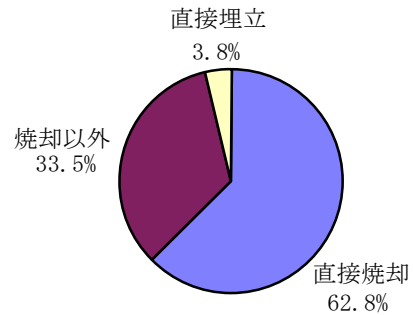
(単位：t)

出雲地区		平成16年度
計画収集量		73,071
収 集 内 訳	混 合 ご み	14
	可 燃 ご み	54,653
	不 燃 ご み	3,964
	資 源 ご み	10,439
	そ の 他	3,682
	粗 大 ご み	319
直 接 搬 入 量		11,263
自 家 処 理 量		1,097
総 排 出 量		85,431
集 団 回 収 量		526
処 理 内 訳	中 間 焼 却	52,367
	焼 却 以 外	27,913
	最 終 直 接 埋 立	3,147
	処 焼 却 残 渣	5,648
	分 破 碎 圧 縮	4,911
	資 源 化	21,006
処 理 合 計		83,427
資 源 化 率 (%)		25.2
1人1日当たり ごみ総排出量 (g)		954



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図2-5 ごみの収集内訳



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図2-6 ごみの処理内訳

注) ごみの資源化率 (%) = 資源化量 / 処理合計 × 100
処理合計 = 焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

<浜田地区>

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-4、ごみの収集内訳を図 2-7、ごみの処理内訳を図 2-8 に示す。

平成 16 年度に当地区内で処理されたごみ量は 71,976t であった。その内、49,683t(69.0%)は直接焼却され、21,090t(29.3%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理が行われ、1,203t(1.7%)は直接埋立てられた。

当地区全体で 15,422t(21.4%)がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 16,002t が資源化された。

ごみの収集内訳は、可燃ごみ 69.5%、不燃ごみ 9.5%、資源ごみ 19.8%、その他 0.1%、粗大ごみ 1.1%であった。

表2-4 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

(単位：t)

浜田地区		平成16年度
計画収集量		65,375
収 集 内 訳	可 燃 ご み	45,428
	不 燃 ご み	6,184
	資 源 ご み	12,953
	そ の 他	86
	粗 大 ご み	724
直接搬入量		7,612
自家処理量		2,705
総排出量		75,692
集団回収量		580
処 理 内 訳	中 間 焼 却	49,683
	焼 却 以 外	21,090
	最 終 処 理	
	直 接 埋 立	1,203
	焼 却 残 渣	5,007
	破 碎 圧 縮	5,495
資 源 化		15,422
処 理 合 計		71,976
資 源 化 率 (%)		21.4
1人1日当たり ごみ総排出量 (g)		898

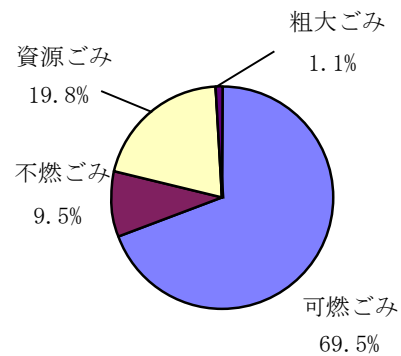


図2-7 ごみの収集内訳

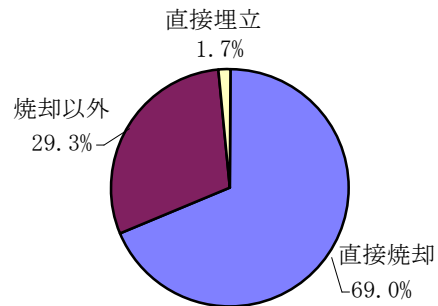


図2-8 ごみの処理内訳

注) ごみの資源化率 (%) = 資源化量 / 処理合計 × 100
処理合計 = 焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

<隠岐地区>

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-5、ごみの収集内訳を図 2-9、ごみの処理内訳を図 2-10 に示す。

平成 16 年度に当地区内で処理されたごみ量は 11,375t であった。その内、9,200t (80.9%) は直接焼却され、1,251t (11.0%) は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理が行われ、924t (8.1%) は直接埋立てられた。

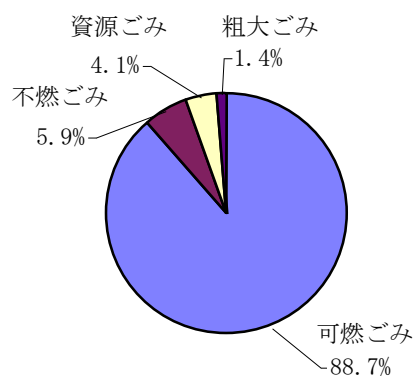
当地区全体で 581t (5.1%) がごみから分別・資源化された。

ごみの収集内訳は、可燃ごみ 88.7%、不燃ごみ 5.9%、資源ごみ 4.1%、粗大ごみ 1.4% であった。

表2-5 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

(単位：t)

隠岐地区		平成16年度
計画収集量		5,137
収集内訳	可燃ごみ	4,556
	不燃ごみ	302
	資源ごみ	209
	その他	0
	粗大ごみ	70
直接搬入量		6,254
自家処理量		8
総排出量		11,399
集団回収量		0
処理内訳	中間焼却	9,200
	焼却以外	1,251
	最終処分	924
	焼却残渣	1,388
	破碎圧縮	525
	資源化	581
処理合計		11,375
資源化率 (%)		5.1
1人1日当たり ごみ総排出量 (g)		1,272



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図2-9 ごみの収集内訳

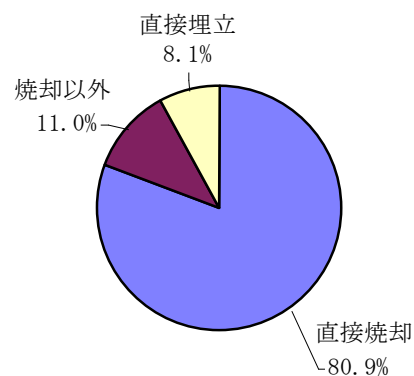


図2-10 ごみの処理内訳

注) ごみの資源化率 (%) = 資源化量 / 処理合計 × 100
処理合計 = 焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

3. ごみ処理施設の状況

(1) 全県の状況

平成 16 年度末現在における県内のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-1、2 に示す。

県内の焼却施設数（ごみ燃料化施設を含む）は 13 施設(処理能力 869.6 t/日)である。

可燃ごみを焼却施設まで運搬するための中継施設数は 2 施設、資源化等施設数は 24 施設、粗大ごみ処理施設数は 10 施設、保管施設数は 15 施設である。

埋立中の最終処分場は 40 施設あり、処理能力（全体容量）は 2,306,661m³、残余容量は 920,002m³となっている。

表3-1 ごみ処理施設の状況

施設	施設数 ^{※1}	処理能力(t/日)	残余容量
ごみ焼却施設	13	869.6	—
中継施設	2	60	—
資源化等の施設	24	310.17	—
粗大ごみ処理施設	10	189	—
保管施設	15	26,648(t/年度) ^{※2}	—
最終処分場	40	2,306,661(m ³)	920,002(m ³)

※1. 休止、埋立終了、廃止の施設は含まない。

2. 保管施設の処理能力は、平成 16 年度保管量である。

表3-2 焼却施設の状況

種類	焼却			ガス化溶融 (キルン式)	ごみ燃料化	合計
	全連続	准連続	バッチ	全連続		
炉型式						
施設数	3	1	7	1	1	13
規模(t/日)	409.5	52	159.6	218	30	869.6

※ごみ燃料化施設及びガス化溶融施設は、可燃ごみを扱う施設であるため焼却施設として計上した。

(2) 各地区の状況

<松江地区>

①松江市・東出雲町

松江市・東出雲町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-3、4に示す。

ごみ焼却施設数は2施設(処理能力312.5t/日)で、共に全連続運転による焼却を行っている。

資源化等施設数は9施設、保管施設数は4施設である。

埋立中の最終処分場は13施設あり、処理能力(全体容量)は1,024,747m³、残余容量は232,591m³となっている。

表3-3 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量
ごみ焼却施設	2	312.5	—
資源化等の施設	9	165.7	—
粗大ごみ処理施設	0	0	
保管施設	4	14,875 (t/年度) ^{※1}	—
最終処分場 ^{※2}	13	1,024,747 (m ³)	232,591 (m ³)

※1. 保管施設の処理能力は、平成16年度保管量である。

※2. 埋立終了は含まない。

表3-4 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
松江市	南工場	112.5	焼却	全連続
	北工場	200	焼却	全連続

②安来市

安来市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-5、6 に示す。

ごみ焼却施設数は 1 施設(処理能力 52 t/日)で、准連続運転による焼却を行っている。

粗大ごみ処理施設数は 3 施設である。

埋立中の最終処分場は 3 施設あり、処理能力(全体容量)は 99,304m³、残余容量は 60,362 m³となっている。

表3-5 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量
ごみ焼却施設	1	52	—
粗大ごみ処理施設	3	40	—
最終処分場	3	99,304 (m ³)	60,362 (m ³)

表3-6 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
安来市	清瀬クリーンセンター	52	焼却	准連続

<出雲地区>

①奥出雲町

奥出雲町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-7、8に示す。

ごみ焼却施設数は1施設(処理能力20t/日)で、バッチ運転による焼却を行っている。

粗大ごみ処理施設数は1施設、保管施設数は1施設である。

埋立中の最終処分場は1施設あり、処理能力(全体容量)は31,360m³、残余容量は17,248m³となっている。

表3-7 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量
ごみ焼却施設	1	20	—
粗大ごみ処理施設	1	7	—
保管施設	1	205 (t/年度) ^{※1}	—
最終処分場 ^{※2}	1	31,360 (m ³)	17,248 (m ³)

※1. 保管施設の処理能力は、平成16年度保管量である。

2. 埋立終了は含まない。

表3-8 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
奥出雲町	仁多可燃物処理センター	20	焼却	バッチ

②雲南市・飯南町

雲南市・飯南町のごみ処理施設の状況とごみ燃料化施設及び中継施設の状況を表3-9～11に示す。

雲南市の旧大東町、旧加茂町、旧木次町、旧三刀屋町の可燃ごみは、ごみ燃料化施設で処理を行っている。雲南市の旧吉田村、旧掛合町、飯南町の可燃ごみは、中継施設において、圧縮・梱包処理後、出雲エネルギーセンターへ搬出している。

資源化等施設数は2施設、保管施設は2施設である。

埋立中の最終処分場は6施設あり、処理能力(全体容量)は98,000m³、残余容量は34,365m³となっている。

表3-9 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量
ごみ焼却施設	1 ^{※1}	30	—
中継施設	1	15	—
資源化等の施設	2	14.9	—
保管施設	2	1,904(t/年度) ^{※2}	—
最終処分場 ^{※3}	6	98,000(m ³)	34,365(m ³)

※1 ここでのごみ焼却施設は、ごみ燃料化施設のことである。

2. 保管施設の処理能力は、平成16年度保管量である。

3. 休止、廃止の施設は含まない。

表3-10 ごみ燃料化施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類
雲南市・飯南町 事務組合	雲南エネルギー センター	30	ごみ燃料化

表3-11 中継施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	処理内容
雲南市・飯南町 事務組合	いいしクリーンセンター	15	圧縮・梱包

④出雲市・斐川町

出雲市・斐川町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-12、13 に示す。

ごみ焼却施設数は 1 施設(処理能力 218 t/日)で、全連続運転によるガス化溶融(キルン式)による処理が行われている。

資源化等施設数は 2 施設、粗大ごみ処理施設数は 3 施設、保管施設数は 2 施設である。

埋立中の最終処分場は 4 施設あり、処理能力(全体容量)は 528,231m³、残余容量は 381,758m³となっている。

表3-12 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量
ごみ焼却施設	1	218	—
資源化等の施設	2	75	—
粗大ごみ処理施設	3	83	—
保管施設	2	6,977(t/年度) [※]	—
最終処分場	4	528,231 (m ³)	381,758 (m ³)

※保管施設の処理能力は、平成 15 年度保管量である。

表3-13 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
出雲市	出雲エネルギーセンター	218	ガス化溶融(キルン式)	全連続

<浜田地区>

①大田市・温泉津町・仁摩町

大田市・温泉津町・仁摩町のごみ処理施設の状況と中継施設の状況を表 3-14、15 示す。

可燃ごみ処理は、一般廃棄物運搬中継・中間処理施設(中継施設)において、圧縮・梱包処理後、出雲エネルギーセンターへ搬出している。

資源化等施設数は3施設、粗大ごみ処理施設数は1施設、保管施設数は2施設である。

埋立中の最終処分場は3施設あり、処理能力(全体容量)は112,648m³、残余容量は36,656m³となっている。

表3-14 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量
中継施設	1	45	—
資源化等の施設	3	11	—
粗大ごみ処理施設	1	25	—
保管施設	2	110 (t/年度) [※]	—
最終処分場	3	112,648 (m ³)	36,656 (m ³)

※保管施設の処理能力は、平成16年度保管量である。

表3-15 中継施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	処理内容
大田市外2町 広域行政組合	一般廃棄物運搬 中継・中間処理施設	45	圧縮・梱包

②川本町・美郷町・邑南町

川本町・美郷町・邑南町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-16、17 に示す。

ごみ焼却施設数は 1 施設(処理能力 12 t/日)で、バッチ運転による焼却を行っている。

資源化等施設数は 1 施設、保管施設数は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、処理能力(全体容量)は 14,300m³、残余容量は 10,140 m³となっている。

表3-16 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量
ごみ焼却施設	1	12	—
資源化等の施設	1	5	—
保管施設	1	2,051(t/年度)*	—
最終処分場	1	14,300 (m ³)	10,140 (m ³)

*保管施設の処理能力は、平成 16 年度保管量である。

表3-17 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
邑智郡総合事務組合	笹畑クリーンセンター ごみ焼却処理施設	12	焼却	バッチ

③浜田市・江津市・金城町・旭町・弥栄村・三隅町

浜田市・江津市・金城町・旭町・弥栄村・三隅町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-18、19 に示す。

ごみ焼却施設数は 1 施設(処理能力 84 t/日)で、バッチ式運転による焼却を行っている。

資源化等施設数は 2 施設、粗大ごみ処理施設数は 2 施設である。

埋立中の最終処分場は 3 施設あり、処理能力(全体容量)は 136,200m³、残余容量は 38,401 m³となっている。

表3-18 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量
ごみ焼却施設	1	84	—
資源化等の施設	2	10.77	—
粗大ごみ処理施設	2	34	—
最終処分場※	3	136,200 (m ³)	38,401 (m ³)

※埋立終了、廃止は含まない。

表3-19 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
浜田地区広域行政組合	浜田清掃第一処理場	84	焼却	バッチ式

④益田市・津和野町・日原町・柿木村・六日市町

益田市・津和野町・日原町・柿木村・六日市町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-20、21に示す。

ごみ焼却施設数は1施設(処理能力97.5t/日)で、全連続運転による焼却を行っている。資源化等施設数は3施設、保管施設数は2施設である。

埋立中の最終処分場は3施設あり、処理能力(全体容量)は156,871m³、残余容量は18,665m³となっている。

表3-20 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量
ごみ焼却施設	1	97.5	—
資源化等の施設	3	24.1	—
保管施設	2	1,286 (t/年度) ^{※1}	—
最終処分場 ^{※2}	3	156,871 (m ³)	18,665 (m ³)

※1. 保管施設の処理能力は、平成16年度保管量である。

2. 埋立終了は含まない。

表3-21 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
益田地区広域市町村圏 事務組合	益田清掃工場	97.5	焼却	全連続

<隠岐地区>

①隠岐の島町

隠岐の島町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-22、23に示す。

ごみ焼却施設数は1施設(処理能力25t/日)で、バッチ運転による焼却を行っている。

資源化等施設数は1施設である。

埋立中の最終処分場は1施設あり、処理能力(全体容量)は80,000m³、残余容量は70,937m³となっている。

表3-22 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量
ごみ焼却施設	1	25	—
資源化等の施設	1	2.7	—
最終処分場※	1	80,000(m ³)	70,937(m ³)

※.埋立終了は含まない。

表3-23 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
隠岐の島町	島後清掃センター	25	焼却	バッチ

②海士町

海士町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-24、25 に示す。

海士町のごみ焼却施設数は 1 施設（処理能力 7t/日）で、バッチ運転による焼却を行っている。

資源化等施設数は 1 施設、保管施設数は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、処理能力（全体容量）は 12,000m³、残余容量は 9,855 m³となっている。

表3-24 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量
ごみ焼却施設	1	7	—
資源化等の施設	1	1	—
保管施設	1	50 (t/年度)*	—
最終処分場	1	12,000 (m ³)	9,855 (m ³)

*保管施設の処理能力は、平成 16 年度保管量である。

表3-25 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
海士町	海士町清掃センター	7	焼却	バッチ

③西ノ島町

西ノ島町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-26、27 に示す。

西ノ島町のごみ焼却施設数は 1 施設（処理能力 10t/日）で、バッチ運転による焼却を行っている。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、処理能力（全体容量）は 13,000m³、残余容量は 9,024 m³となっている。

表3-26 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量
ごみ焼却施設	1	10	—
最終処分場	1	13,000 (m ³)	9,024 (m ³)

表3-27 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
西ノ島町	清美苑	10	焼却	バッチ

④知夫村

知夫村のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-28、29 に示す。

知夫村のごみ焼却施設数は 1 施設（処理能力 1.6t/日）で、バッチ運転による焼却を行っている。

表3-28 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量
ごみ焼却施設	1	1.6	—

表3-29 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
知 夫 村	知 夫 村 焼 却 場	1.6	焼却	バッチ

4. ごみ減量化・資源化状況

(1) 全県の状況

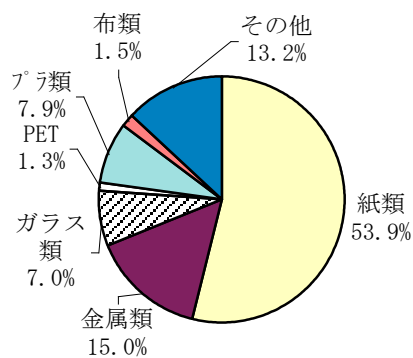
県内における資源化の状況を表4-1、市町村による資源化の内訳を図4-1、集団回収の内訳を図4-2に示す。

平成16年度に市町村が資源化したごみ量は57,181tであった。その内、紙類が30,840t(53.9%)で最も多く、次に、金属類8,597t(15.0%)、その他7,535t(13.2%)であった。

また、集団回収により集められたごみ量は1,596tであり、紙類が1,439t(90.2%)とほとんどを占めた。

表4-1 資源化の状況

区分	紙類	金属類	ガラス類	PET	プラ類	布類	その他	計 (t/年)
市町村	30,840	8,597	4,019	760	4,544	886	7,535	57,181
集団回収	1,439	48	99	0	0	10	0	1,596



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-1 市町村による資源化の内訳

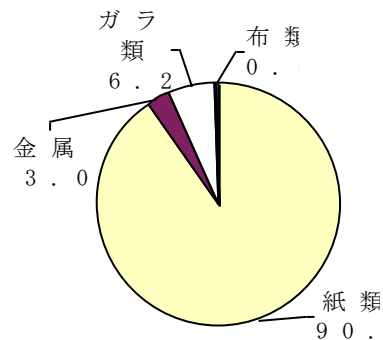


図4-2 集団回収の内訳

(2) 地区別の状況

<松江地区>

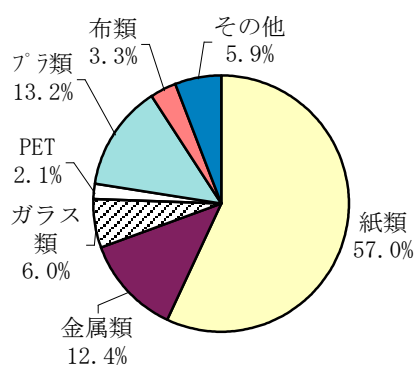
当地区における資源化の状況を表4-2、市町村による資源化の内訳を図4-3、集団回収の内訳を図4-4に示す。

平成16年度に当地区の市町村が資源化したごみ量は20,172tであった。その内、紙類が11,507t(57.0%)で最も多く、次に、金属類2,504t(12.4%)、プラスチック類2,663t(13.2%)であった。

また、集団回収により集められたごみ量は490tであり、紙類が466t(95.1%)とほとんどを占めた。

表4-2 資源化の状況

区分	紙類	金属類	ガラス類	PET	プラ類	布類	その他	計 (t/年)
市町村	11,507	2,504	1,216	431	2,663	668	1,183	20,172
集団回収	466	5	18	0	0	1	0	490



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-3 市町村による資源化の内訳

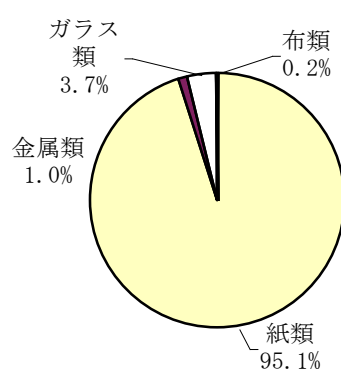


図4-4 集団回収の内訳

<出雲地区>

当地区における資源化の状況を表 4-3、市町村による資源化の内訳を図 4-5、集団回収の内訳を図 4-6 に示す。

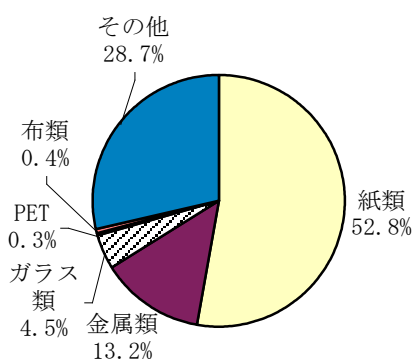
平成 16 年度に当地区の市町村が資源化したごみ量は 21,006t であった。その内、紙類が 11,096t (52.8%) で最も多く、次にその他 6,038t (28.7%)、金属類 2,781t (13.2%) であった。

その他の大半は、ごみ燃料化施設からの固形燃料である。

また、集団回収により集められたごみ量は 526t であり、紙類が 495t (94.1%) とほとんどを占めた。

表4-3 資源化の状況

区 分	紙類	金属類	ガラス類	PET	プラ類	布類	その他	計 (t/年)
市町村	11,096	2,781	954	60	0	77	6,038	21,006
集団回収	495	24	7	0	0	0	0	526



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図4-5 市町村による資源化の内訳

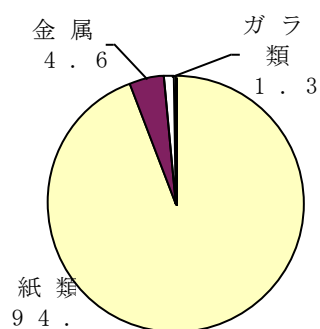


図4-6 集団回収の内訳

<浜田地区>

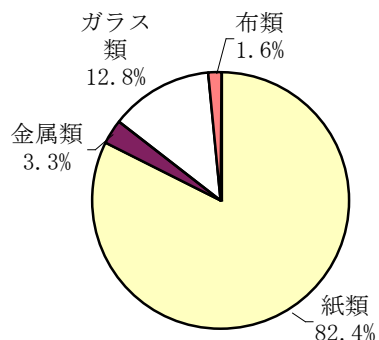
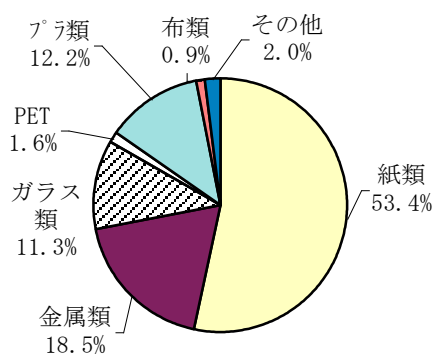
当地区における資源化の状況を表 4-4、市町村による資源化の内訳を図 4-7、集団回収の内訳を図 4-8 に示す。

平成 16 年度に当地区の市町村が資源化したごみ量は 15,422t であった。その内、紙類が 8,237t(53.4%)で最も多く、次に金属類 2,858t(18.5%),プラスチック類 1,881t(12.2%)であった。

また、集団回収により集められたごみ量は 580t であり、紙類が 478t(82.4%)とほとんどを占めた。

表4-4 資源化の状況

区 分	紙類	金属類	ガラス類	PET	プラ類	布類	その他	計 (t/年)
市町村	8,237	2,858	1,745	246	1,881	141	314	15,422
集団回収	478	19	74	0	0	9	0	580



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図4-7 市町村による資源化の内訳

図4-8 集団回収の内訳

<隠岐地区>

隠岐地区における資源化の状況を表4-5、市町村による資源化の内訳を図4-9に示す。

平成16年度に当地区の市町村が資源化したごみ量は581tであった。その内、金属類が454t(78.1%)で最も多く、次にガラス類104t(17.9%)、ペットボトル23t(4.0%)であった。

集団回収は行われていない。

表4-5 資源化の状況

区分	紙類	金属類	ガラス類	PET	プラ類	布類	その他	計 (t/年)
市町村	0	454	104	23	0	0	0	581
集団回収	0	0	0	0	0	0	0	0

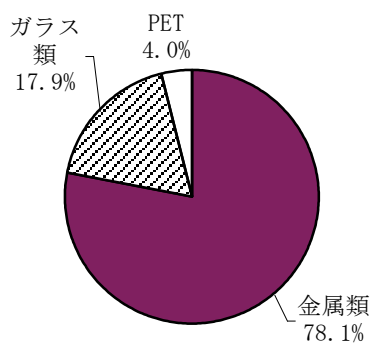


図4-9 市町村による資源化の内訳

5. 廃棄物減量化に対する施策、住民支援措置

平成 17 年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業について、表 5-1、可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系、事業系)について表 5-2～5、生ごみ処理機等の購入に対する助成について表 5-6、事業予定額の内訳(市町村)について図 5-1 に示す。

市町村の廃棄物減量化に対する施策として、パンフレットの作成、廃棄物減量化等協議会開催、イベントの開催及び不法投棄防止関連事業が多く行われている。

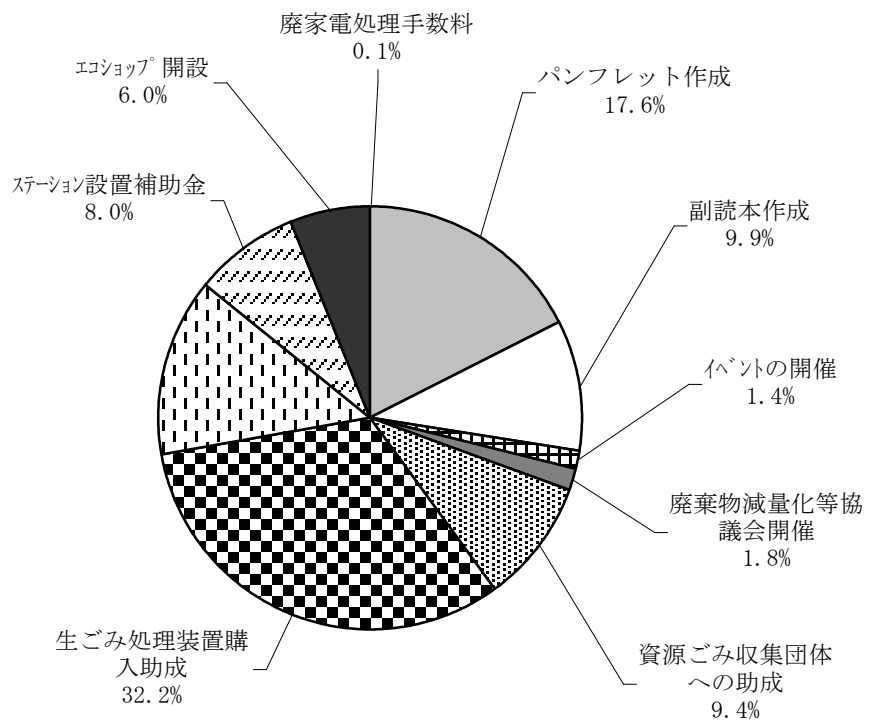
住民支援措置としては、生ごみ堆肥化装置の設置補助を多くの市町村が行っており、次にパンフレット作成を行っている。

組合では、平成 17 年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業を行っているところはない。

表5-1 平成16年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業(市町村)

事業類型	事業名	市町村数	当初予算額(千円)
啓発資料 作成等	パンフレット作成	7	12,364
	ビデオ作成	1	0
	副読本作成	2	6,927
イベント等の 開催	リサイクルバザーの開催	1	0
	イベントの開催	5	950
	エコショップの開設	1	4,200
ごみ減量化に 関する助成	廃棄物減量化等協議会開催	4	1,240
	資源ごみ団体回収への助成	6	6,620
	生ごみ堆肥化装置の設置助成	12	22,623
	資源ごみ回収機器の貸出	1	0
啓発事業等	不法投棄防止事業	12	9,603
分別収集 促進事業	ステーション設置補助金	2	5,600
	廃家電処理手数料	1	88

注) 生ごみ堆肥化装置の設置補助額は実績。



注) 1. 生ごみ堆肥化装置の設置補助額は実績。
 2. 四捨五入しているため合計が100%にならない。

図5-1 平成17年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業予定額の内訳(市町村)

表5-2 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

平成 17 年度

区分 市町村	ごみ区分	色	容 量	値 段	材 質
				1 枚あたり	
松江市	可燃	半透明(白)	20/30/45ℓ	12/15/18 円	炭加10%入り高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(緑)	30/45ℓ	16/19 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明	30/45ℓ	16/19 円	低密度ポリエチレン
浜田市	可燃	緑	10/20/50ℓ	10.5/21/31.5 円	低密度ポリエチレン
	〃	粗大シール		210 円	
	不燃	青	10/20/50ℓ	10.5/21/31.5 円	低密度ポリエチレン
	〃	粗大シール		210 円	
資源	水色, 灰	20/50ℓ	10.5/15.75 円	低密度ポリエチレン	
〃	〃	橙	20ℓ	10.5 円	〃
浜田市 (金城町)	可燃	半透明(橙)	620×500 mm	52.5 円	高密度ポリエチレン活性炭配合
	不燃	透明(緑字)	900×600 mm	52.5 円	低密度ポリエチレン
	〃	粗大シール		52.4 円	
資源	半透明 (青字・赤字)	750/900×600 mm	31.5 円	高密度ポリエチレン	
浜田市 (旭町)	可燃	半透明(青)	830×550 mm	87 円	高密度ポリエチレン
	〃	粗大シール		52.5 円	
	不燃	透明	830×610 mm	87 円	低密度ポリエチレン
〃	〃	粗大シール		52.5 円	
資源	半透明	830×550 mm	64 円	高密度ポリエチレン	
浜田市 (弥栄村)	可燃	半透明(青)	800×380/550×0.03 mm	60 円	高密度ポリエチレン
	〃	シール		700/1000 円	
	不燃	半透明(黄)	800×380/550×0.04 mm	60 円	高密度ポリエチレン
	〃	シール		700/1000 円	
資源	半透明(桃)	800×380/550×0.04 mm	60 円	高密度ポリエチレン	
〃	半透明(白)	700×500×0.06 mm	〃	低密度ポリエチレン	
〃	半透明(緑)	800×490/650×0.03 mm	〃	〃	
浜田市 (三隅町)	可燃(大)	半透明(青、黄)	1000×500×0.035 mm	84 円	高密度ポリエチレン
	〃(小)	〃	700×350×0.02 mm	42 円	〃
	〃	シール		32 円	
	不燃(大)	半透明(オレンジ)	1000×500×0.02 mm	31.5 円	高密度ポリエチレン
	〃(小)	〃	700×350×0.02 mm	15.8 円	〃
	〃	シール		32 円	
資源(大)	半透明 (赤、緑、茶)	1000×500×0.02 mm	31.5 円	高密度ポリエチレン	
〃(小)	〃	700×350×0.02 mm	15.8 円		
出雲市	可燃	半透明(乳白)	25/45ℓ	20/40 円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明(黄・赤)	25/45ℓ	20/40 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明	25/45ℓ	5/10 円	低密度ポリエチレン
益田市	可燃(大)	半透明(茶)	800×600/420mm	15.75 円	無公害性指向ポリ中低圧加工品(活性炭配合)
	〃(小)	〃	600×400mm	11.55 円	〃
	資源	透明	800×650 mm	14.7 円	LD 低密度ポリエチレン
安来市	可燃	半透明(黄)	30/45ℓ	35/45 円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明	15/30/45ℓ	25/30/35 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明	15/30/45ℓ	25/30/35 円	低密度ポリエチレン
大田市 (旧温泉津町)	不燃	半透明	45ℓ	50 円	高密度ポリエチレン
	資源	半透明	20/30ℓ	30/40 円	高密度ポリエチレン
大田市 (仁摩町)	不燃	半透明	45ℓ	50 円	高密度ポリエチレン
	資源	透明(赤・青・緑)	45ℓ	50 円	高密度ポリエチレン
江津市	可燃・不燃	黄	15/30/45ℓ	15/20/30 円	高密度ポリ袋(活性炭)
雲南市 (雲南エネルギー センター)	可燃	半透明(茶)	20/40ℓ(平型)	27.3/39.9 円	活性炭入りポリエチレン/高密度ポリエチレン
	〃	〃	20/40ℓ(手さげ型)	29.4/42 円	
	不燃	半透明(青)	20/40ℓ	31.5/52.5 円	ポリエチレン
資源	半透明(緑)	20/40ℓ	31.5/52.5 円	ポリエチレン	
雲南市 (いいし クリーンセンター)	可燃	半透明(黄)	30/40ℓ	31.5/52.5 円	活性炭入りポリエチレン/高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青)	30/40ℓ	31.5/52.5 円	ポリエチレン
	資源	半透明(緑)	30/40ℓ	31.5/52.5 円	ポリエチレン

注)材質は市町村の調査結果のまま記載している。

表5-3 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

平成 17 年度

市町村	区分	ごみ区分	色	容 量	値 段	材 質
					1 枚あたり	
東出雲町		可燃	半透明(黄)	30/45ℓ	40/60 円	フェロキサイト入り高密度ポリエチレン
		不燃	透明	45ℓ	60 円	低密度ポリエチレン
		資源	透明	30/45ℓ	40/60 円	低密度ポリエチレン
斐川町		可燃	黄	600×500mm	20 円	活性フェロキサイト入りポリエチレン
		〃	乳白	800×650mm	40 円	〃
		不燃	透明	600×500mm	20 円	ポリエチレン
奥出雲町		〃	〃	800×650mm	30 円	〃
		可燃	半透明	30/45ℓ	10.7 円	炭酸カルシウム入り高密度ポリエチレン
		不燃	透明(赤)	45ℓ	14.8 円	低密度ポリエチレン
飯南町		資源	透明(青)	45ℓ	14.8 円	低密度ポリエチレン
		可燃	黄	30/45ℓ	42/63 円	フェロキサイト入りポリエチレン
		不燃	青	45ℓ	42 円	高密度ポリエチレン
川本町		資源	緑	45ℓ	42 円	高密度ポリエチレン
		可燃	半色透明	10/25ℓ	30/60 円	高密度ポリエチレン
		不燃	半色透明	25ℓ	30 円	高密度ポリエチレン
美郷町		資源	半色透明(水色・桃・黄緑)	45ℓ	15 円	高密度ポリエチレン
		粗大	シール	5 枚綴り	150 円	
		可燃	半透明(白)	10/25ℓ	31.5/63 円	高密度ポリエチレン
邑南町		不燃	半透明(白)	25ℓ	31.5 円	高密度ポリエチレン
		資源	半透明(赤・緑・青)	10/25ℓ	15.7/15.7 円	高密度ポリエチレン
		粗大	シール	5 枚綴り	31.4 円	
津和野町		可燃	半透明(白)	10/25ℓ	31/63 円	高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(白)	25ℓ	31 円	高密度ポリエチレン
		資源(びん・かん)	半透明(白)	25ℓ	31 円	高密度ポリエチレン
		資源(ペットボトル)	半透明(水色)	25ℓ	31 円	〃
		資源(包装プラ)	半透明(桃)	25ℓ	31 円	〃
		資源(容器包装紙)	半透明(緑)	25ℓ	31 円	〃
吉賀町		可燃	橙	20/45ℓ	30/50 円	高密度ポリエチレン
		資源(容包プラ)	桃	20/45ℓ	30/50 円	高密度ポリエチレン
		(商品プラ)	黄	〃	〃	〃
		(缶類)	黒ふち	〃	〃	低密度ポリエチレン
吉賀町		(びん類)	青ふち	〃	〃	〃
		可燃	半透明(赤)	800×600 mm	50 円	
		〃	〃	650×500 mm	33.3 円	
		不燃(ビソ)	半透明(青)	400×600mm	50 円	低密度ポリエチレン
吉賀町		(カン)	半透明(黒)	650×800 mm	〃	〃
		資源(容プラ)	半透明(桃)	650×800 mm	50 円	高密度ポリエチレン
		(商プラ)	半透明(黄)	〃	〃	〃
隠岐の島町		資源	半透明	850×800 mm	12.90 円	高密度ポリエチレン
海士町		可燃	茶	650×370 mm	70 円	紙
		不燃	チケツト	115×65 mm	70 円	紙
		資源	半透明(黄)	800×650 mm	70 円	ポリエチレン(酸化鉄配合)
西ノ島町		可燃・不燃	チケツト			
知夫村		可燃	半透明(黄)	中/小/特小	100/60/30 円	フェロキサイト入りポリエチレン
		不燃	赤		200/1000 円券	
		資源	半透明(黄)		140 円	フェロキサイト入りポリエチレン
邑智郡総合事務組合		可燃	半透明(白)	10/25ℓ	30/60 円	高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(白)	25ℓ	30 円	高密度ポリエチレン
		資源	半透明(白)	25/45ℓ	15/15 円	高密度ポリエチレン
		粗大	シール	5 枚綴り	30 円	
鹿足郡不燃物処理組合		不燃	半透明	45ℓ	50 円	高密度ポリエチレン

注) 材質は市町村の調査結果のまま記載している。

表5-4 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(事業系)

平成 16 年度

区分 市町村	ごみ区分	色	容 量	値段	材 質
				1 枚あたり	
松江市	可燃	半透明(白)	20/30/45ℓ		炭カル10%入り高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(黄)	30/45ℓ		低密度ポリエチレン
浜田市	可燃・不燃	黄	50ℓ	63 円	低密度ポリエチレン
	資源	茶	50ℓ	31.5 円	低密度ポリエチレン
浜田市 (金城町)	可燃	半透明(橙)	620×500 mm	52.5 円	高密度ポリエチレン活性フェロキサイト配合
	不燃	透明	900×600 mm	52.5 円	低密度ポリエチレン
	〃	シール		52.4 円	
	資源	半透明	750/900×600 mm	31.5 円	高密度ポリエチレン
浜田市 (旭町)	可燃	半透明(青)	830×550 mm	63 円	高密度ポリエチレン
	〃	シール		52.5 円	
	不燃	透明	830×610 mm	87 円	低密度ポリエチレン
	〃	シール		52.5 円	
浜田市 (弥栄村)	可燃	半透明(青)	800×380/550×0.03 mm	60 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(黄)	800×380/550×0.04 mm	60 円	高密度ポリエチレン
	資源	半透明(桃)	800×380/550×0.04 mm	60 円	高密度ポリエチレン
	〃	半透明(白)	700×500×0.06 mm	〃	低密度ポリエチレン
出雲市	可燃	半透明(乳白)	45ℓ	100 円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明(黄・赤)	45ℓ	100 円	低密度ポリエチレン
益田市	可燃	半透明(黄)	800×600/420mm	30.5 円	無公害性指向ポリエチレン中低圧加工品(活性フェロキサイト入り)
安来市	可燃	半透明(黄) +事業用収集券	30/45ℓ	35/45 円 50 円	高密度ポリエチレン(シール)
	不燃・資源	透明 +事業用収集券	15/30/45ℓ	25/30/35 円 50 円	低密度ポリエチレン(シール)
江津市	可燃・不燃	黄	15/30/45ℓ	15/20/30 円	高密度ポリエチレン袋(活性フェロキサイト)
雲南市 (雲南エネルギー センター)	可燃	半透明(茶)	20/40ℓ(平型) 20/40ℓ(手さげ型)	27.3/39.9 円 29.4/42 円	フェロキサイト入りポリエチレン/高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青)	20/40ℓ	31.5/52.5 円	ポリエチレン
	資源	半透明(緑)	20/40ℓ	31.5/52.5 円	ポリエチレン
雲南市 (いいし クリーンセンター)	可燃	半透明(黄)	30/40ℓ	31.5/52.5 円	活性フェロキサイト入りポリエチレン/高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青)	30/40ℓ	31.5/52.5 円	ポリエチレン
	資源	半透明(緑)	30/40ℓ	31.5/52.5 円	ポリエチレン
奥出雲町	可燃	半透明	30/45ℓ	10.7 円	炭酸カルシウム入り高密度ポリエチレン
	不燃	透明(赤)	45ℓ	14.8 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明(青)	45ℓ	14.8 円	低密度ポリエチレン
飯南町	可燃	黄	30/45ℓ	42/63 円	フェロキサイト入りポリエチレン
	不燃	青	45ℓ	42 円	高密度ポリエチレン
	資源	緑	45ℓ	42 円	高密度ポリエチレン
川本町	可燃	半色透明	10/25ℓ	30/60 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半色透明	25ℓ	30 円	高密度ポリエチレン
	資源	半色透明(水色・ 桃・黄緑)	45ℓ	15 円	高密度ポリエチレン
	粗大	シール	5 枚綴り	150 円	
津和野町	可燃	橙	20/45ℓ 900×700 mm	30/50 円 130 円	高密度ポリエチレン 〃
	資源(容プラ) (商品プラ)	桃 黄	20/45ℓ 〃	30/50 円 〃	高密度ポリエチレン 〃
	(缶類)	黒ふち 青ふち	〃 〃	〃 〃	低密度ポリエチレン 〃
	(びん類)	青ふち	〃	〃	〃

注) 材質は市町村の調査結果のまま記載している。

表5-5 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(事業系)

平成 17 年度

区分 市町村	ごみ区分	色	容 量	値 段	材 質
				1 枚あたり	
吉賀町	可燃	半透明(赤)	800×600 mm	50 円	
	〃	〃	650×500 mm	33.3 円	
	不燃(ビン) (カン)	半透明(青) 半透明(黒)	400×600mm 650×800 mm	50 円 〃	低密度ポリエチレン 〃
	資源(容プラ) (商プラ)	半透明(桃) 半透明(黄)	650×800 mm 〃	50 円 〃	高密度ポリエチレン 〃
海士町	可燃	茶	370×650 mm	70 円	紙
	不燃	チケット	115×65 mm	70 円	紙
	資源	半透明(黄)	650×800 mm	70 円	ポリエチレン(酸化鉄配合)
西ノ島町	可燃	チケット			

注) 材質は市町村の調査結果のまま記載している。

表5-6 生ごみ処理機等の購入に対する助成(平成17年度)

市町村名	補助基準	備 考
松江市	補助率 1/3、上限 20 千円	
浜田市	補助率 1/3、上限 20 千円	電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
出雲市	補助率 1/2、上限 30 千円	コンポスト(1世帯当たり年2基まで) 電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
益田市	補助率 1/2、上限 5 千円 補助率 1/3、上限 15 千円	コンポスト 電気式(補助は100基のみ)
大田市	補助率 1/2、上限 3 千円	1世帯当たり2基まで
安来市	補助率 1/2、上限 5 千円 補助率 1/3、上限 25 千円	コンポスト(1世帯当たり2基まで) 電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
東出雲町	補助率 1/2、上限 3 千円 補助率 1/3、上限 10 千円	コンポスト 電気式生ごみ処理機
斐川町	補助率 1/2、上限 5 千円 補助率 1/2、上限 20 千円	コンポスト (18L 以上) 電気式生ごみ処理機
川本町	補助率 1/2、上限 3 千円 補助率 1/3、上限 20 千円	コンポスト(1世帯当たり2基まで) 電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
津和野町	補助率 1/2、上限 3.5 千円 補助率 1/3、上限 20 千円	コンポスト 電気式生ごみ処理機
吉賀町	補助率 1/2、上限 3 千円 補助率 1/2、上限 20 千円	コンポスト 電気式生ごみ処理機
西ノ島町	補助率 1/2、上限 20 千円	

6. し尿処理の概要

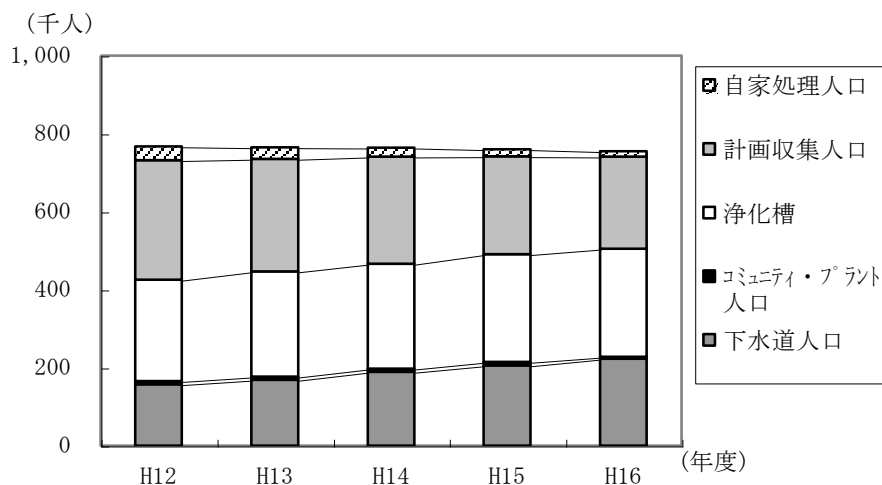
(1) 衛生処理人口

県内のし尿処理人口及び発生量を表 6-1、衛生処理人口の推移を図 6-1、衛生処理人口の内訳を図 6-2 に示す。

平成 16 年度における県内の水洗化人口は、505,707 人(67%)、非水洗化人口は、249,820 人(33%)である。水洗化人口は前年より約 3%増加し、また、平成 12 年度と比べると約 19%増加している。

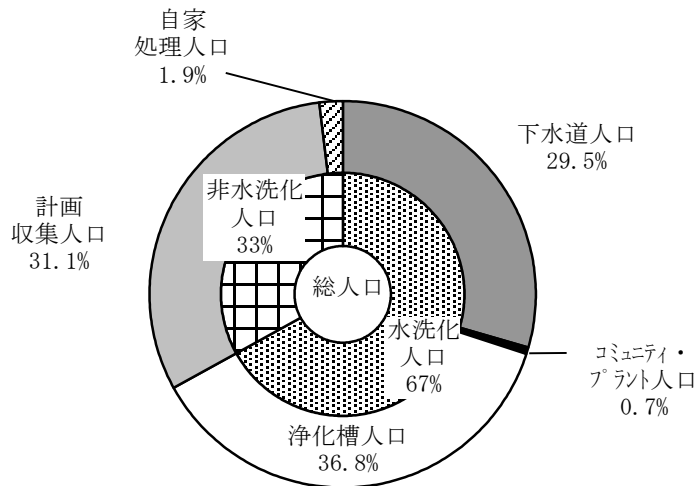
表6-1 し尿の処理人口及び排出量

	平成 12 年度	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度
総人口(人)	767,571	764,909	763,822	760,354	755,527
水洗化人口(人)	425,347	446,192	466,174	491,776	505,707
下水道人口(人)	157,173	168,888	188,950	205,708	222,649
コミュニティ・プラント人口(人)	8,272	8,418	8,605	8,637	4,996
浄化槽人口(人)	259,902	268,886	268,619	277,431	278,062
非水洗化人口(人)	342,224	318,717	297,648	268,578	249,820
計画収集人口(人)	306,792	289,631	275,240	250,481	235,200
自家処理人口(人)	35,432	29,086	22,408	18,097	14,620
総排出量(kℓ/年)	340,967	342,890	335,170	333,213	322,948
し尿計画処理量(kℓ/年)	187,605	184,739	174,813	170,774	156,699
自家処理量(kℓ/年)	20,530	18,535	14,934	11,809	8,661
浄化槽汚泥量(kℓ/年)	132,832	139,616	145,423	147,630	157,588



注) 総人口=水洗化人口+非水洗化人口
 水洗化人口=公共下水道人口+コミュニティ・プラント人口+浄化槽人口
 非水洗化人口=計画収集人口+自家処理人口

図6-1 衛生処理人口の推移



注) 総人口=水洗化人口+非水洗化人口
 水洗化人口=公共下水道人口+コミュニティ・プラント人口+浄化槽人口
 非水洗化人口=計画収集人口+自家処理人口

図6-2 衛生処理人口の内訳

(2) し尿処理の状況

し尿の処理状況を表6-2、総排出量の内訳を図6-3に示す。

平成16年度における県内の総排出量は、322,948kℓで、前年より約3.1%減少している。内訳は浄化槽汚泥量が48.8%、し尿計画処理量が48.5%、自家処理量2.7%となっている。

し尿1人1日当たり処理量は1.83ℓ/人・日、し尿浄化槽汚泥処理量は1.53ℓ/人・日である。

表6-2 し尿の処理状況

処理区分	平成16年度
総排出量 (kℓ/年)	322,948
し尿計画処理量	156,699
自家処理量 (内浄化槽汚泥)	8,661 (45)
浄化槽汚泥量	157,588
し尿処理量 (kℓ/年)	156,427
下水道投入	0
し尿処理施設	156,427
農村還元	272
1日1人当たりし尿処理量 (ℓ/人・日)	1.83
1日1人当たりし尿排出量 (ℓ/人・日)	1.81
1日1人当たりし尿浄化槽汚泥処理量 (ℓ/人・日)	1.53

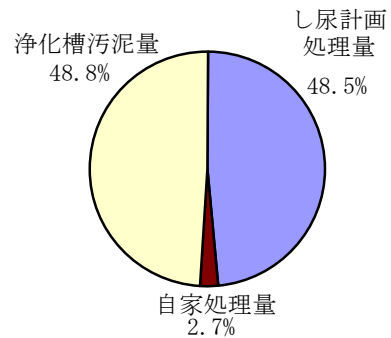


図6-3 総排出量の内訳

注) 処理量に汚泥量は含まず。

総排出量 (kℓ/年) = し尿計画処理量 + 自家処理量 + 浄化槽汚泥処理量

1人1日当たりし尿処理量 (ℓ/人・日) = し尿処理量 / 計画収集人口 / 365日 × 10³

1人1日当たりし尿排出量 (ℓ/人・日) = (し尿処理量 + 自家処理量(し尿)) / 非水洗化人口 / 365日 × 10³

1人1日当たりし尿浄化槽汚泥処理量 (ℓ/人・日)

= 浄化槽汚泥処理量 / 浄化槽人口 + コミュニティ・プラント人口 / 365日 × 10³

(3) し尿処理施設

し尿処理施設の状況を表 6-3、浄化槽の設置状況を表 6-4、浄化槽の設置状況の推移を図 6-4 に示す。

平成 16 年度の県内のし尿処理施設数は 12 施設（処理能力 837kℓ/日）である。また、コミュニティ・プラント数は 9 施設（計画最大汚水量 2,993.5m³/日）である。

浄化槽設置数は合計 78,509 基で、去年より 1,097 基増加している。

平成 16 年度の浄化槽設置基数（個人設置型）は 934 基である。

表6-3 し尿処理施設の状況

区 分	し 尿 処 理 施 設							コミュニティ・プラント
	好二段	標 脱	高負荷	膜分離	高負荷膜分離	高負荷下水投入	合計	
処 理 方 式								
施 設 数	1	2	5	1	2	1	12	9
規 模 (kℓ/日)	40	117	268	106	236	70	837	2,993.5

注1) 好二段……好気性処理のうち二段活性汚泥処理方式
 標脱…標準脱窒素処理方式（旧低二段）
 高負荷……高負荷脱窒素処理方式
 膜分離…膜分離処理方式
 高負荷膜分離…高負荷膜分離処理方式
 高負荷下水投入…高負荷下水投入処理方式
 下水投入…下水投入方式

注2) コミュニティ・プラントの規模は、計画最大汚水量で、単位は、m³/日である。

表6-4 浄化槽の設置状況

区 分	浄 化 槽 設 置 基 数				
規 模	100人以下	101～500人	501～1,000人	1,000人以上	合計
設 置 数	76,840	1,431	131	107	78,509

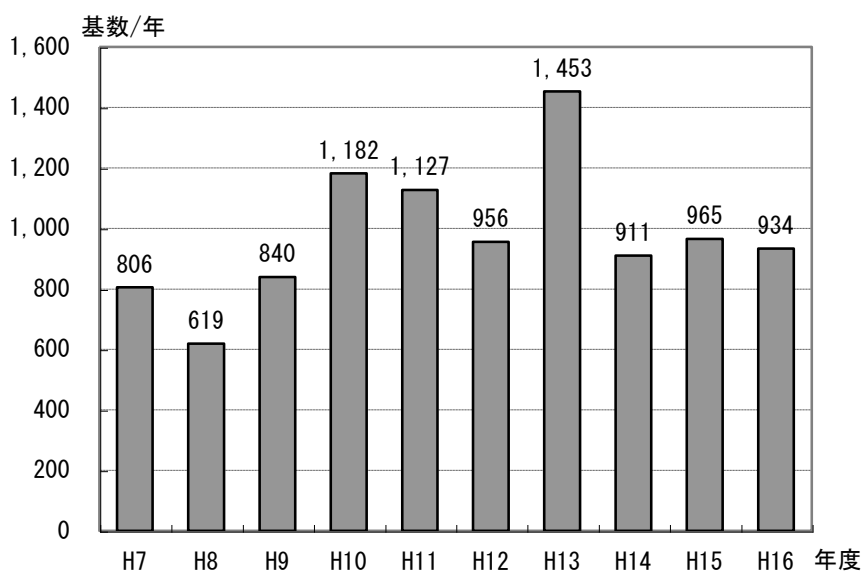


図6-4 浄化槽設置基数（個人設置型）の推移

7. 一般廃棄物処理事業の実態

7-1 廃棄物処理事業経費の概要

(1) 県全体の廃棄物処理事業経費の概要

県内の市町村における廃棄物処理事業経費の歳入の内訳を表 7-1、歳出の内訳を表 7-2、廃棄物処理経費の内訳を図 7-1、ごみ処理の歳入の内訳を図 7-2、し尿処理の歳入の内訳を図 7-3 に示す。

平成 16 年度の市町村における廃棄物処理事業経費の総額は 10,540,404 千円（組合分担金含む）であり、前年より約 5%増加している。経費の内訳はごみ処理が 8,834,679 千円、し尿処理が 1,705,725 千円である。

事務組合における廃棄物処理事業経費の歳入、歳出の内訳(表 7-3,4)は、ごみ処理が 8,894,348 千円(84%)、し尿処理が 1,416,016 千円(16%)、総額 10,310,364 千円である。

(2) 地区別のごみ処理事業経費の概要

地区別におけるごみ処理経費(市町村)の歳入の内訳を表 7-5、歳出の内訳を表 7-6、地区別におけるごみ処理経費(事務組合)の歳入、歳出の内訳を表 7-7,8 に示す。

地区別におけるごみ処理経費(市町村)は、松江地区が 3,797,832 千円と最も多く、次いで浜田地区、出雲地区続く(表 7-5,6)。また、ごみ処理経費(事務組合)は、浜田地区(6 事務組合)が 4,449,670 千円と最も多く、次いで出雲地区(3 事務組合)、松江地区(3 事務組合)と続く(表 7-7,8)。

表7-1 歳入の内訳(市町村)

(平成16年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源					一般財源	合 計
	国 庫 支出金	県支出金	地方債	使用料 手数料	その他		
ごみ	99,268	5,216	482,400	956,183	385,414	6,906,198	8,834,679
し尿	0	0	0	190,170	58,114	1,457,441	1,705,725
計	99,268	5,216	482,400	1,146,353	443,528	8,363,639	10,540,404

表7-2 歳出の内訳(市町村)

(平成16年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費						処理及び維持管理費							その他	合計		
	工事費			調査費	組合 分担金	小計	人件費	処理費			車両等 購入費	委託費	その他			組合 分担金	小計
	中間処 理施設	最終 処分場	その他					収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費							
ごみ	45,841	444,168	8,119	0	604,526	1,102,654	1,114,473	137,367	1,363,547	135,195	9,991	1,927,742	230,459	2,735,711	7,654,485	77,540	8,834,679
し尿	0	0	0	0	56,284	56,284	117,930	2,029	251,563	4,611	0	207,451	16,102	1,034,109	1,633,795	15,646	1,705,725
計	45,841	444,168	8,119	0	660,810	1,158,938	1,232,403	139,396	1,615,110	139,806	9,991	2,135,193	246,561	3,769,820	9,288,280	93,186	10,540,404

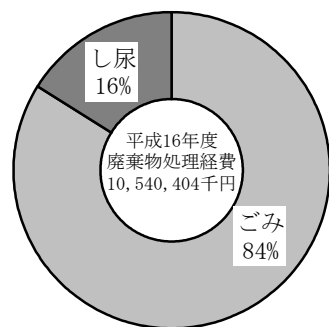


図7-1 廃棄物処理経費

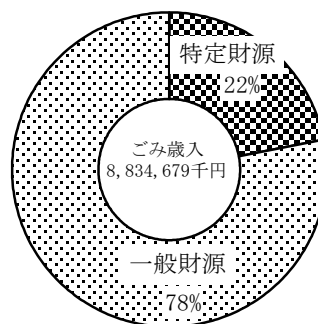


図7-2 ごみ処理の歳入

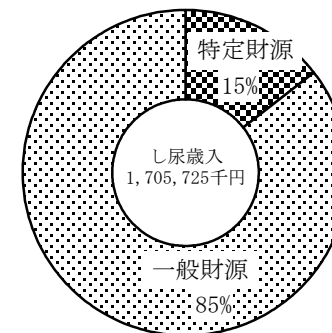


図7-3 し尿処理の歳入

表7-3 歳入の内訳（事務組合）

（平成16年度、単位：千円）

歳入	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国 庫 支出金	県支出金	地方債	使用料 手数料	市町村 分担金	その他		
ごみ	504,973	0	2,417,200	1,292,983	3,340,237	765,450	573,505	8,894,348
し尿	0	0	0	301,059	1,105,865	19,282	△ 10,190	1,416,016
計	504,973	0	2,417,200	1,594,042	4,446,102	784,732	563,315	10,310,364

表7-4 歳出の内訳（事務組合）

（平成16年度、単位：千円）

歳出	建設・改良費					処理及び維持管理費								その他	合計
	工事費			調査費	小計	人件費	処理費			車両等 購入費	委託費	その他	小計		
	中間処 理施設	最終 処分場	その他				収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費						
ごみ	3,087,384	381,215	413,108	30,982	3,912,689	1,376,836	68,804	1,722,869	188,790	0	1,273,665	93,165	4,724,129	257,530	8,894,348
し尿	0	0	50,915	0	50,915	390,657	0	628,408	237	0	196,567	8,712	1,224,581	140,520	1,416,016
計	3,087,384	381,215	464,023	30,982	3,963,604	1,767,493	68,804	2,351,277	189,027	0	1,470,232	101,877	5,948,710	398,050	10,310,364

表7-5 地区別ごみ処理歳入の内訳(市町村)

(平成16年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源					一般財源	合計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	その他		
松江地区	99,268	682	348,800	484,206	13,510	2,851,366	3,797,832
出雲地区	0	1,249	130,700	249,144	317,684	1,299,952	1,998,729
浜田地区	0	2,285	0	160,198	54,220	2,410,196	2,626,899
隠岐地区	0	1,000	2,900	62,635	0	344,684	411,219
合計	99,268	5,216	482,400	956,183	385,414	6,906,198	8,834,679

表7-6 ブロック別ごみ処理歳出の内訳(市町村)

(平成16年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費						処理及び維持管理費									その他	合計
	工事費			調査費	組合 分担金	小計	人件費	処理費			車両等 購入費	委託費	組合 分担金	その他	小計		
	中間処 理施設	最終 処分場	その他					収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費							
松江地区	41,000	444,168	2,058	0	45,786	533,012	662,517	71,234	1,151,584	104,227	3,958	696,950	59,325	470,409	3,220,204	44,616	3,797,832
出雲地区	0	0	3,977	0	278,802	282,779	48,998	3,532	53,238	11,331	3,965	488,431	71,513	1,005,068	1,686,076	29,874	1,998,729
浜田地区	0	0	0	0	279,938	279,938	276,783	55,641	42,109	9,701	0	676,066	96,276	1,187,335	2,343,911	3,050	2,626,899
隠岐地区	4,841	0	2,084	0	0	6,925	126,175	6,960	116,616	9,936	2,068	66,295	3,345	72,899	404,294	0	411,219
合計	45,841	444,168	8,119	0	604,526	1,102,654	1,114,473	137,367	1,363,547	135,195	9,991	1,927,742	230,459	2,735,711	7,654,485	77,540	8,834,679

表7-7 地区別歳入の内訳(事務組合)

(平成16年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源						一般財源	合計
	国庫 支出金	県支出金	地方債	使用料 手数料	市町村 分担金	その他		
松江地区	0	0	175,600	906,556	559,782	339	18,012	1,660,289
出雲地区	0	0	0	232,843	1,240,283	720,068	488,966	2,682,160
浜田地区	504,973	0	2,241,600	127,363	1,467,273	45,043	63,418	4,449,670
隠岐地区	0	0	0	26,221	72,899	0	3,109	102,229
合計	504,973	0	2,417,200	1,292,983	3,340,237	765,450	573,505	8,894,348

表7-8 地区別歳出の内訳(事務組合)

(平成16年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費						処理及び維持管理費							その他	合計
	工事費			調査費	小計	人件費	処理費			車両等 購入費	委託費	その他	小計		
	中間処 理施設	最終 処分場	その他				収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費						
松江地区	234,150	16,267	0	1,691	252,108	681,959	5,289	485,735	35,752	0	93,322	0	1,302,057	106,124	1,660,289
出雲地区	381	258,694	413,108	10,586	682,769	259,400	33,076	538,824	67,125	0	1,003,342	0	1,901,767	97,624	2,682,160
浜田地区	2,852,853	106,254	0	18,705	2,977,812	378,845	27,056	672,455	83,438	0	163,117	93,165	1,418,076	53,782	4,449,670
隠岐地区	0	0	0	0	0	56,632	3,383	25,855	2,475	0	13,884	0	102,229	0	102,229
合計	3,087,384	381,215	413,108	30,982	3,912,689	1,376,836	68,804	1,722,869	188,790	0	1,273,665	93,165	4,724,129	257,530	8,894,348

7-2 廃棄物処理事業従事職員

県内の市町村及び事務組合における廃棄物処理事業従事職員の状況を表 7-9 に示す。
平成 16 年度末における廃棄物処理事業従事職員数は合計 451 人である。
内訳は、ごみ処理が 379 人、し尿処理が 72 人である。

表 7-9 従事職員の状況 (単位:人)

区 分	ご み		し 尿		合 計		総 計	
	市町村	事務組合	市町村	事務組合	市町村	事務組合		
一般職	事務系	88	20	16	11	104	31	135
	技術系	6	21	3	22	9	43	52
技能職	収集・運搬	113	20	4	0	117	20	137
	中間処理	68	30	8	5	76	35	111
	最終処分	11	2	0	0	11	2	13
	その他	0	0	0	3	0	3	3
合 計		286	93	31	41	317	134	451

7-3 委託・許可業者数

県内の委託・許可業者の状況を表 7-10 に示す。
平成 16 年度末における委託・許可業者は 360 件である。

表7-10 委託・許可業者の状況

	区 分	件 数
ごみ	委託業 (法第 6 条)	98
	許可業 (法第 7 条)	182
し尿	委託業 (法第 6 条)	10
	許可業 (法第 7 条)	70

7-4 一般廃棄物処理業者等関係

平成 16 年度末における一般廃棄物処理業者数、従業員数の状況を表 7-11, 12 に示す。

表7-11 一般廃棄物処理業者状況

区 分	ごみ専業	し尿専業	兼業	合 計
業者数	105	31	17	153

表7-12 一般廃棄物処理業従業員数の状況

区 分	ごみ関係	し尿関係	浄化槽関係	合 計
従業員数	795	187	218	1,200

8. ダイオキシン類対策等の状況

市町村が設置している一般廃棄物焼却施設及び事業者が許可を受けて設置する一般廃棄物焼却施設のダイオキシン類濃度測定結果について本県と全国レベルでの比較を表 8-1～3 に示す。

表 8-1 ダイオキシン濃度の平均値(市町村設置)(単位:ng-TEQ/Nm³)

	施設規模	測定箇所数	平均値	中央値	最小値～最大値
島根県	4t/h以上	3	0.0000013	0.0000018	0.0000018～0.0000022
	2～4t/h	3	2.7	2.6	2.1～3.4
	2t/h未満	9	0.77	0.51	0.032～2.9
	合計	15	1.00	0.51	0.0000018～3.4
全国	4t/h以上	642	0.08	0.01	<0.01～1.7
	2～4t/h	876	0.38	0.09	<0.01～15
	2t/h未満	564	1.8	0.13	<0.01～540
	合計	2,082	0.67	0.06	<0.01～540

注)1 調査時期：平成 15 年 12 月 1 日～16 年 11 月 30 日

2 共通煙道の場合は複数炉で 1 測定箇所。

表 8-2 ダイオキシン濃度の平均値(事業者設置)(単位:ng-TEQ/Nm³)

	測定箇所数	平均値	中央値	最小値～最大値
島根	(7)	1.25	0.85	0.029～5.2
全国	55	0.87	0.13	<0.01～7.7

注) 調査時期：平成 15 年 12 月 1 日～16 年 11 月 30 日

表 8-3 ごみ焼却施設における排ガス中のダイオキシン類濃度測定結果

施設 の 名 称	集塵 方式	ダイオキシン類濃度測定値 (ng-TEQ/Nm ³)				備考
		今回調査結果 (H15.12.1~ H16.11.30)	H14.12.1~ H15.11.30	H13.12.1~ H14.11.30	H14.12.1 からの 排出基準	
松江市(旧松江地区広域行政組合)南工場 " 北工場	BF	0	0.026	0.00066	1.0	
	EP	(0.019) (0.042)	0.23 0.53	0.64 1.0		
安来市 清瀬クリーンセンター	BF	0.69	4.5	—	10	
		0.96	1.1	—		
奥出雲町(旧仁多町横田町広域事務組合) ごみ焼却施設	BF	0.30	0.18	—	5.0	
		0.15	1.2	—		
出雲市(出雲市外6市町広域事務組合) 出雲エネルギーセンター	BF	0.000022	0.0029	—	0.1	
		0.000018	0.0044	—		
邑智郡総合事務組合 笹畑クリーンセンター	BF	0.41	0.5	0.35	10	
浜田地区広域行政組合 浜田清掃第一処理場	EP	2.1	1.7	7.3	5.0	
		2.6	2.2			
益田地区広域市町村圏事務組合 益田清掃工場	EP	3.4	3.7	5.0	5.0	
隠岐の島町 清掃センター	BF	0.94	1.2	2.7	10	
海士町清掃センター	BF	0.51	0.12	0.26	5.0	
西ノ島ごみ焼却場 清美苑	BF	2.9	7.3	0.75	10	
雲南市・飯南町事務組合 雲南エネルギーセンター (RDF)	MC・BF	0.032	0.074	—	—	
知夫村	*	(3.4)	6.6	1.3	10	

注)1 集塵方式において、EP=電気集じん器、MC=マルチサイクロン、CC=キャスタブル成形サイクロン、BF=バグフィルター、* =二次燃焼重力沈降方式。
2()内は測定期間外の数字。